



## 地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

# てなむ

## 回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

### 到三書読

「うちのひとまた来てく  
ださいね。(田鍋館長)」



細野小の2年生が市立図書館を見学。質問の時間に飾ってある額の文字について尋ねた児童がいました。

説明では、右から「どくしょさんとう」と読み、本は「目よく

見て、口で朗読し、心を集中すると理解が深まる」という意味だそうです。

2クラスが交替で館内を見て回り、一人が3冊借りました。「読書離れ」の声も聞きますが、目を輝かせて本を選んで子どもたちからは、そんな雰囲気は感じられません。大人になるにつれて、本よりもネットに接する時間が長くなるのでしょうか。



【感想より】◆ 探していた本を教えてくださいありがとうございました。◆ 恐竜シリーズの中で読んでない本を借りられて良かったです。◆ 好きな本が見つかってうれしかったです。◆ バレーボールの本を探してくれてありがとうございました。

### 野尻小 国際交流の授業

4年生



「さくらさくら」をトーンチャイムと合唱で披露。校歌も紹介しました。



野尻小では、国際交流支援の会の協力で、ネパールの学校との交流を続けています。7月には2つの小学校とオンラインで交流。ネパールについて調べたことを英語で発表したり



進行は野田さん

り歌や合奏を披露したりしました。

ネパールの学校からは英語での自己紹介や伝統的な踊りの紹介もあり、野尻小の子どもたちは珍しい映像に興味津々。時には歓声を上げながら熱心に観ていました。市内の小学校では、国際交流員による国際理解の授業もあり、外国の生活や文化に触れると同時に、日本を見つめ直すきっかけにもなっています。

### 西小林小「鎌之手踊り」の練習

3年生



東さん



明治2年(1869年)、鹿児島から西小林に移住した人々が、数少ない娯楽の一つとして、苦しい開拓の合間に鎌之手踊りを踊り継いできました。100周年記念式典でも踊られ、数年前までは、地区の

敬老会などで子どもたちが踊ることもありましたが、今は途絶えています。

11月10日(日)の創立150周年記念式典での復活をめざして、3年生が練習を重ねています。

講師は50年前の式典でも踊った東成也さん。「えびの市の岡元や他の地域にも『鎌踊り』の名前で伝わっています」など、踊りの由来についてお話ししてくださいました。その後、8名の児童が昔の映像を見ながら踊ってみました。

「50年前に踊ったメンバーで残っているのは私だけです」と東さん。継承の難しさを感じながらも、これから練習に取り組む3年生に大きな期待を寄せていました。

### 小林小 兵児踊の練習

4年生



兵児とは、鹿児島地方で青年男子のこと。

天正年間(1573年～92年)、島津・伊東の争いで、島津氏が薩摩武士の士気を鼓舞するために踊らせたのが起源と伝えられています。また、兵児踊を通して日頃の土風の鍛錬に励んだとも言われています。

毎年、運動会で4年生が披露しています。指導は真方一区兵児踊保存会の皆さん。この日が2回目の練習で、模範演技を参考に繰り返し練習しました。徐々に、全員の動きが揃うようになり、保存会の鶴戸会長からも「ずいぶん上手になりました。運動会でもっと上手に踊れるよう、頑張ってください」と、励ましの言葉をいただきました。



## 永久津中 手話講座

3年生



【講師】真方さん(左)と岡元さん  
手話サークル「木の实会」

主な内容は、聞こえない人の生活・伝える方法・簡単な手話・指文字・自己紹介。授業は実践的な内容が中心で、説明の後に個人やペアでの練習時間を長く取りました。繰り返し練習したおかげで、自己紹介も全員が上手にでき、「身に付いている」と感じました。

## 東方小 ふれあい交流

2年生

こすもす支援学校2年生との  
交流会。進行は東方小児童



定期的に行っている学年ごとの交流会です。20分間、自己紹介やふれあい遊び、歌を一緒に楽しみました。教室は、両校の子どもたちの元気な声と笑顔でいっぱい。体全体で楽しさを表現していました。感想の時間には「楽しかったです」「また一緒に遊びたいです」などの声がたくさん聞かれました。

## 南小まつり

毎年実施している体験活動



しおりづくり

味噌づくり



盆景

洋裁(トートバック)

多くの事業所・団体・地域住民の協力を得て、全校児童が12種類の活動に分かれて参加。子どもたちは3時間ほどの間、それぞれの作品と真剣に向き合っていました。

写真で紹介した他にも…

- ◆ 昔の遊び(めんこ・けんだま・こままわし・おりがみ)
- ◆ エコバックづくり(STOP!おんだんかるた)
- ◆ お茶体験(お茶の種類当て・おいしいいれ方)
- ◆ フラワーアレンジメント ◆ 和裁(コースターづくり)
- ◆ 竹細工(たけとんぼ) ◆ 陶芸 ◆ 表装(化粧箱)

南小まつりは、大人との交流を通してさまざまなことが学べる貴重な機会です。また、活動には技能士による県の事業(ものづくり)や市の事業(食育)もあり、技能や食への関心を高めてほしいという願いも込められています。

## 細野中 生涯学び続けるための学習



「なぜ学ぶのか」に続く2回目の授業です。オンラインで各教室をつないで行いました。

授業の流れは…

- ① 予測困難な時代に必要な能力について話し合い、学級ごとに発表しました。
- ② 「2007年生まれば107歳まで生きる確率が50%」という情報を受け、学ぶことの意味を考えました。
- ③ 80歳で宮崎東高校通信制課程を卒業した女性を紹介したテレビ番組を視聴し、感想をまとめました。
- ④ 全校生徒が10グループに分かれ、感想を共有しました。

【3年生の感想より】◆ 学ぶことは何歳からでもいいのだなと思った。◆ 今、学べることは当たり前じゃないんだと思いました。学ぶことの大切さや大変さについて、改めて深く考えることができました。

◆ 何歳になっても、学ぼうとする意欲があれば勉強を続けてもいいことが分かりました。◆ 77歳で高校に入学するのは、勇気があることだと思った。◆ 分かるまで質問しているのがすごいと思った。

## 永久津小 陽光の里訪問

3年生 7名  
4年生 11名



福祉についての学習です。輪投げなどの手作りの遊び道具に加え、カルタやオセロ、折り紙などを準備して訪問。5つのグループに分かれ、デイサービスの利用者さんたちと、約1時間、楽しく交流しました。

子どもたちにとって、親や先生以外の大人との交流は社会性を育てる貴重な機会です。高齢者も、さまざまな刺激で脳が活性化し、子どもたちから元気をもらいます。

【児童あいさつ】勉強のお手伝いをしてくれてありがとうございました。これからも元気で過ごしてください。